

秩父夜祭 祭礼区域・笠鉾屋台曳行図

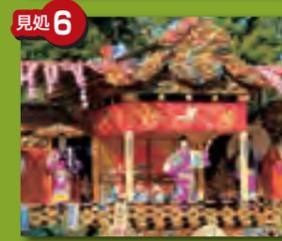
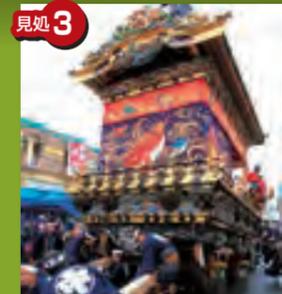
笠鉾・屋台は、国指定重要有形民俗文化財となっており、屋台行事と神楽も国指定重要無形民俗文化財となっております。

日本三大曳山祭 国指定重要有形民俗文化財 ユネスコ無形文化遺産登録

曳行・行事案内&交通案内図

平成29年12月2日④・3日⑤

秩父夜祭



見処のご案内

見処3 ギリ廻し
屋台や笠鉾の方向転換は、テコの応用で持ち上げて回転させる「ギリ廻し」と呼ばれる場面です。重さ数十トンの屋台・笠鉾が大きく傾き、「玉入れ」と呼ばれる小太鼓のリズムに合わせて方向転換します。

見処4 屋台曳き踊り
屋台町である宮地・上町・中町・本町の各町内ごとに街の辻や他町会所前、秩父神社の神門前などに屋台を止めて、長頭の曲を演奏する地方と踊り手である立方により「曳き踊り」という所作事を奉納します。

見処5 龍の子石
秩父夜祭の斎場である御旅所には、秩父神社の女神・妙見菩薩の神使とされる龍(玄武)が祀られています。妙見様と武甲山の男神との逢瀬の大切な役割を担う玄武を、地元では親しみを込めて「龍の子石」と呼んでいます。

リニューアルオープン! 秩父まつり会館

秩父夜祭プロジェクトマッピング公開中!

開館時間
12月2日・9:00~20:00 12月3日・9:00~21:00
※入館受付は閉館時間の30分前まで
※通常時の開館時間は、9:00~17:00(12月~3月は10:00開館)
※休館日は第4・第5火曜日(祝祭日は開館)及び12月29日~12月31日

入館料
一般 500円 小中学生 250円
個人 450円 200円
団体 (団体は25名様以上)



雪洞が灯り御旅所へ向かう屋台 12月4日⑥秩父流籠馬奉納(秩父公園「御旅所」)

京都の祇園祭、飛騨の高山祭とともに日本三大曳山祭に数えられる秩父夜祭は、秩父の総社、秩父神社の例大祭で、300有余年の歴史を誇ります。
巧みな技を極めた極彩色の彫刻や、金糸をあしらった後幕の刺繍などに彩られた、豪華絢爛な笠鉾・屋台が秩父屋台囃子の調べに乗り、冬の夜空を焦がす花火をバックに曳き廻される勇壮な祭りです。
秩父神社の女神妙見様と武甲山の男神龍神様が年に1度、御旅所で出逢うというロマンスも伝えられています。

Chichibu Yomatsuri, Night Festival

Chichibu Yomatsuri is regarded as one of three most famous float festivals in Japan where six huge gorgeous floats parade through the city. At the climax on the night of December 3rd, the huge floats, which up to 20 tons each, are drawn up the steep Dango slope making a really surprising and spectacular scene.

お問い合わせ ■ 秩父まつり対策本部 ☎0494-25-5209 秩父夜祭観光祭実行委員会 ☎0494-21-2277
※夜祭規制区域内、屋台曳行ルートおよび花火大会会場等でのドローンの飛行・撮影を禁止致します。